

趣味の

お値段

もともと、吹き矢は狩猟の道具として普及したといわれる。日本では、江戸時代の文献や錦絵にも残っているが、遊び道具の一つとして広く定着してきた。子どもの頃、縁日で経験したという人も多いだろう。今週、紹介するのは、安全な用具と統一されたルールのもとに行う「スポーツ吹矢」だ。1998年、社団法人「日本スポーツ吹矢

スポーツ吹矢



今週のコーディネーター
社団法人
日本スポーツ吹矢協会
理事 公認指導員
赤堀みどりさん



道具編 ※1

軽量グラスファイバー 1本筒	6090円
グラスファイバー1本筒 ※重さによって3種類	9980円～
ジュニア用グラス ファイバー1本筒	4980円
ジョイント式グラス ファイバー筒 ※2	1万8900円～
矢(10本入り)通常タイプ	1890円
的(的シール10枚入り)	2940円

実践編 ※3

年会費	3000円
教室利用料(45分)	1500円
教室利用料(45分) 回数券8回分	8400円

※1 道具編の料金は、スポーツ吹矢公認販売店「ビックサクセス」で扱う道具の料金を参照

※2 筒の長さは約120センチ程度。ジョイント式の場合、3本に分けて持ち運びが可能

※3 実践編の料金は、協会直営教室(銀座)での料金。カルチャーセンター、支部によって利用料は異なる

腹式呼吸で25センチの的へ

協会」(東京・銀座)が設立されて、競技も始まった。完全なスポーツなのだ。5〜10センチ先の、直径約25

点、外枠が1点。5本吹い

も腹式呼吸を覚えると、10

の円形の的をめがけて、筒に入れた矢を放つ。得点は中心から7点、5点、3点、外枠が1点。5本吹いても腹式呼吸を覚えると、10

は「年齢や体力に関係なく、何歳からでも始められる。子どもや孫など家族で楽しめる点も魅力です」と話す。

て1ラウンド。4〜6ラウンドの合計点を競う。ヨガや太極拳と同様、吹くという行為を通じて「腹式呼吸」が効果的にできるようになる。最初は的に届かない人も腹式呼吸を覚えると、10

協会支部は全国に700近くあり、最寄りの教室の紹介もしている。認定試験に合格した公認の指導員が中心になって、企業や学校などに派遣指導を行うケースも多いそうだ。赤堀さんは「年齢や体力に関係なく、何歳からでも始められる。子どもや孫など家族で楽しめる点も魅力です」と話す。

昨今の健康ブームの影響もあり、協会によると、会員数だけで約2万7000人。愛好者は10万人に上るといわれる。

は離れた的にも命中するようになるそうだ。